

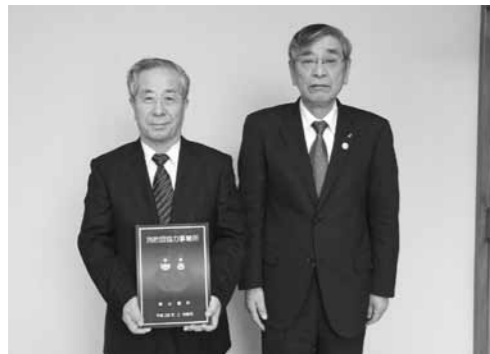
福間工務店

奥出雲町消防団協力事業所に認定

奥出雲町消防団協力事業所に福間工務店（三成）が認定され、3月23日に町より表示証が交付されました。

この制度は、消防団活動に積極的に協力している企業に対して町長が表示証を交付し、地域の消防防災力の充実・強化等を一層推進することを目的に認定するもので、今回で8事業所目の認定となりました。

福間工務店では、社員に対して消防団への入団を積極的に呼び掛け、現在は7名の団員が活動しています。



福間久八社長（左）と勝田町長

全国初 自動販売機に公衆無線LAN

3月22日、町と一般社団法人安全・安心まちづくりICT推進機構（SAPIC）は、町内の公共施設に公衆無線LANと防犯カメラを併設した自動販売機の設置・管理に関する全国初となる協定を締結しました。

この自動販売機は、町内の役場庁舎や公園、公民館などの公共施設8カ所に設置し、機器の整備や運用・保守費用などは全て自動販売機の売上げで賄われます。

町では、今後も同機構や自動販売機設置事業者と共同し、公共施設を中心に同様の自動販売機の設置することとしています。



協定を締結したSAPICの後藤真之代表理事（右）と勝田町長

高田小学校

141年の長い歴史に幕



Ⓐ

3月27日、町立高田小学校の閉校式が行われ、糸原徳康県議会議長をはじめ、関係者や地元住民ら230人が出席しました。

式では勝田町長が「これまで受け継がれてきた高田小学校の教育理念や輝かしい足跡は、いつまでも皆様の心に残り、語り継がれていく」とあいさつしました。高田小学校は、明治8年に第22区郡村小学校として設立されました。その後、亀高村立第二小学校（1889年）、高田尋常小学校（1901年）、高田国民学校（1941年）、高田小学校（1947年）と改称され、2005年の町村合併により奥出雲町立高田小学校となりました。1960年ごろには150人を超える児童が通った同校は、今年3月までの141年間で1438人の児童が学びました。

また、様々な授業や研究実践、教育活動に積極的に取り組み、特に花づくり活動では全国花いっぱいコンクールで農林水産大臣賞、最優秀賞を5度受賞するなど、様々な教育分野で全国表彰や県の表彰を受賞しました。

今後の施設利用については、地元で組織する高田地区活性化委員会の意見・要望を踏まえ、役場内に設置している高田小学校跡地利用検討委員会で有効な活用方法を検討していきます。

- Ⓐ 1995年（平成7年）に完成した現在の校舎
- Ⓑ 内藤満久校長（左）から勝田町長に校旗を返納
- Ⓒ 児童らによるかしらつちの披露
- Ⓓ 校門に設置された閉校記念碑

夢と希望を胸に

専門学校2校で卒業式と入学式

町内の専門学校2校で卒業式が行われました。3月10日にカルチャープラザ仁多で行われた島根リハビリテーション学院の卒業式では、理学療法学科25人、作業療法学科16人の卒業生が新天地へと巣立ちました。3月17日には島根デザイン専門学校の卒業式が行われ、ビジュアルデザイン科の2人の卒業生が、数々の作品を生み出した学舎を後にしました。



卒業証書授与の様子（島根デザイン専門学校）



感謝の言葉を述べる藤原薫さん（島根リハビリテーション学院）



新生代表の神門侑芽さん（島根リハビリテーション学院）



4名の新入生が入学（島根デザイン専門学校）

4月になると専門学校2校で入学式が行われ、多くの学生が新生活をスタートさせました。4月7日に行われた島根デザイン専門学校の入学式では、ビジュアルデザイン科に4人が入学しました。4月8日は島根リハビリテーション学院の入学式が行われ、理学療法学科に20人、作業療法学科に10人が入学しました。両校の新入生は奥出雲の地で、それぞれの夢の実現に向けて努力していくことを誓いました。



Ⓒ



Ⓑ



Ⓓ